

No. **300**

2025.05.01

発行：奈良県平群町議会

平群町議会だより

Heguri Town Parliament Newsletter

H HEGURI 平群



1月臨時会・3月定例会

第1回臨時会（1月）・第2回定例会（3月）

P2~5 議決結果／質疑あれこれ
P6~9 予算審査特別委員会報告
P10~15 町政を問う！ 一般質問

P16 特集①（創刊当時の出来事など）
P17 議員提出議案／議会の動き
P18 特集②（とっておきの私の1枚！）

第1回臨時会・第2回定例会 こんなことが決まりました



第1回臨時会が1月20日に開催され、一般会計補正予算、学校給食費特別会計補正予算が上程され、審議・採決しました。

第2回定例会は、3月4日～21日までの18日間の会期で開かれました。

初日は、町長提出の27議案が上程され、うち17件は即決。新年度の一般会計・各特別会計・下水道事業会計の予算案10件は予算審査特別委員会を設置して、7・10日に審議しました。

一般質問は13・14日に行い、11名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。

最終日は、予算審査特別委員会の審査結果報告を受けて採決を行い、議員発議の条例改正（案）3件、意見書2件が上程され、審議・採決を行いました。

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	関順子	須藤啓二	岩崎真滋	長良俊一	山本隆史	稲月敏子	植田いづみ	井戸太郎	山田仁樹	森田勝	馬本隆夫	山口昌亮
町長提出議案 (臨時会・3月定例会)	令和6年度平群町一般会計補正予算(第6号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度平群町学校給食費特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	冠婚葬祭用衣裳の管理運営並びに使用に関する条例を廃止する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	冠婚葬祭用衣裳使用料条例を廃止する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町水道事業の設置等に関する条例を廃止する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員で常勤のもの給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度平群町一般会計補正予算(第7号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度平群町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度平群町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	奈良県広域水道企業団設立準備協議会の廃止に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町一般会計予算について	原案可決	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町下水道事業会計予算について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町農業集落排水事業特別会計予算について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町学校給食費特別会計予算について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度平群町用地先行取得事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案 (3月定例会)	平群町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	否決	○	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○
	「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の改正を求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高額療養費制度の負担上限額引上げに反対する意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わりません

質疑あれこれ

1月臨時会、3月定例会に上程された
主な議案及び質疑を紹介します。

(1月臨時会) 令和6年度一般会計補正 予算(第6号)

補正額は1億2345万3千
円で、補正後の予算現額は84億
1409万6千円。

補正の主なものは、物価高騰
に伴う家計や事業者の負担軽減
を目的とし、国からの「重点支
援地方交付金」を活用して実施
するもの。

・住民税非課税世帯1世帯あた
りに3万円給付(18歳以下の子
育て世帯には児童一人当たり2
万円加算)

・全世帯にクオカード3千円

・地域公共交通事業者支援

・給食費保護者負担無償化(町

立小・中学校、こども園の給食
費保護者負担の無償化及び町内
私立幼稚園・こども園の町内在
園児給食費を町が助成。1～3
月分)

令和6年度学校給食費特 別会計補正予算(第1号)

歳出で主なものは、事業費で
は、物価高騰対策に伴う給食賄
材料費の増額を行う。歳入で主
なものは、繰入金で物価高騰対
策及び学校給食費保護者負担金
無償化に伴う一般会計繰入金の
予算措置を行い、雑入では保護
者負担金の減額を行う。

350万円を追加し、歳入歳
出補正総額は6595万3千
円。



(3月定例会)

地域包括支援センターの
職員及び運営に関する基
準を定める条例の制定に
ついて

これまで要綱で運用してきた
「地域包括支援センターの職員

及び運営に関する基準」を介護
保険法施行規則の改正に伴い、
新たに条例で定めるもの。

これまでの「保健師、社会福
祉士、主任介護支援専門員」と
する配置基準を国の基準緩和に
従い、それぞれの専門職につい
て、「その他これに準ずる者」
を規定し、加えるもの。

刑法等の一部を改正する 法律の施行に伴う関係条 例の整理に関する条例の 制定について

刑法等の一部改正により、「懲
役及び禁錮」を廃止して、「拘
禁刑」を創設するため、関係す
る条例の「懲役」「禁錮」を「拘
禁刑」に改めるもの。

【関係条例】…個人情報保護／
土砂の埋め立て等の規制／消防
団員の定員等／非常勤消防団員
の退職報奨金支給／町議会の個
人情報保護

冠婚葬祭用衣裳の管理運 営並びに使用に関する条 例の廃止 冠婚葬祭用衣裳使用料条 例の廃止

この2つの条例廃止は、旧人
権交流センターの閉館に伴い冠

婚葬祭用の衣裳貸出業務を令和
元年に業務停止したことによる
もの。

水道事業の設置等に関す る条例の廃止

奈良県広域水道企業団事業が
開始されることに伴う関連条例
の廃止と、「水道事業管理者」廃
止に伴う関連条例の「水道事業
管理者」の文言削除等するもの。

廃止条例…水道事業の設置等／
企業職員の給与等／水道事業給
水／簡易水道給水／簡易水道施
設整備事業分担金徴収／布設工
事監督者の配置等の基準及び水
道技術管理者の資格基準

一部改正…町議会の個人情報保
護／情報公開／個人情報保護／
町職員定数／下水道／農業集落
排水処理施設

職員の勤務時間、休暇等 に関する条例の一部改正

育児・介護休業法の改正に伴
う規定整備で、介護休暇につい
ての勤務環境の整備を行うもの。

主な質疑

質問 仕事と介護を両立する
ための整備として、研修の実施

や勤務環境の整備などがあげら
れているが、どのような体制を
とるのか。

答弁 家族介護による離職を
防止するため、職員が40歳到達
時に制度の個別周知や職員から
の相談に対する体制として保健
師を1名配置している。

質問 相談等、実際にあった
事例の説明を。

答弁 保健師が制度の説明や
相談に対応している。今年度、
短期介護休暇(特別休暇)を2
名が取得している。



一般職の職員の給与に関 する条例の一部改正

昨年8月7日の人事院勧告に
伴い、一般職員の給与等を引き
上げるもの。

次頁へ続く

・月額給の引き上げ…平均3%
・期末手当…4・5月↓

4・6月

・地域手当引き下げ…6%↓
4%(7年度5%・8年度4%)
・通勤手当限度額…5万5千円
↓15万円

・扶養手当(配偶者)…6500円↓廃止(7年度30000円・8年度0円)

・扶養手当(子ども)…1万円
↓1万3千円(7年度1万1500円・8年度1万3千円)

・管理職特別勤務手当の対象時間の拡大…午前0時～午前5時
↓午後10時～午前5時

主な質疑

質問 引き上げの人数と総額はいくらか。

答弁 職員184名で総額3570万6千円。1人平均は19万4千円。

質問 今回の改正による、一般会計、特別会計、事業会計を含めた人件費の増加分はいくらか。また、増加分は地方交付税で措置されるのか。

答弁 増額は4532万7千円。地方交付税措置については、

金額は不明だが、措置されていることになっている。

質問 地域手当が下がるがその影響額はいくらか。また、通勤手当限度額が大幅に上がるが、その影響額は。

答弁 地域手当が1%下がった場合の影響額は約680万円。通勤手当の本町の最高額は3万3千円で影響はない。

質問 人事院勧告による給与等の引き上げについて、正職員は今年度(昨年4月遡及)から実施される。会計年度任用職員も今年度から適用すべき。町の考え方の説明を。

答弁 同一労働同一賃金との考え方は持っているが、会計年度任用職員は年度契約であり、年度途中で給料表改定があっても雇用契約に基づいて支給するとの条例に基づいて新年度から適用している。今年度からの適用については、今後検討していきたい。なお、会計年度任用職員の引き上げ総額は5300万円程度で新年度で予算措置している。

特別職の職員で常勤のものとの給与および旅費に関する条例の一部改正
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

この3つの条例改正案は、人事院勧告に伴って、期末手当を0・05月引き上げるもの。
・期末手当…3・40月↓
3・45月

主な質疑

質問 議員についての増加額はいくらか。

答弁 12人分で約23万7千円。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

保育士の配置基準を4歳児以上は「子ども30人に保育士1人」を「25人に1人」に、3歳児は「20人に1人」を「15人に1人」にするもの。なお、「保育の提供に影響を及ぼすおそれ」があ

れば、当分の間、従前の配置基準を認めるもの。また、栄養士免許を有さない管理栄養士の配置についても要件を満たすというもの。

主な質疑

質問 町立こども園はこの条例改正の配置基準を満たしているのか。

答弁 元々、配置基準を満たしている。新年度も基準を下回らない。

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

損害補償の基礎額及び扶養の加算額の改定をするもの。

非常勤消防団員に係る退職償金の支給に関する条例の一部改正

退職報奨金の勤務年数区分に新たに「35年以上」を追加するもの。

主な質疑

質問 町職員の消防団員が火事等で出動したときの町職員と

しての勤務の取り扱いはどうなるのか。

答弁 勤務時間中に火事等で出動することになれば、休暇等を出すことになる。

令和6年度一般会計補正予算(第7号)

補正額は2億1027万3千円で、補正後の予算現額は86億2436万9千円。

補正の主なものは、

◆人事院勧告に伴う人件費の増額5081万6千円。

◆新庁舎建設基本設計発注支援業務396万円。

◆地域防災緊急整備業務270万8千円。財源…国庫補助1/2。

◆ふるさと基金積立金1403万7千円。ふるさと納税寄附金の増額に伴うもの。



◆町内民間教育保育施設の運営等給付金の増額900万円。財源…県補助。

◆福貴定置配管更新事業（測量設計）900万円。財源…県補助540万円、地元負担金180万円、農水路防災事業債180万円。

◆特定農業振興ゾーン整備費の増額1365万円。財源…全額地元負担。

◆小・中学校体育館空調設備等設置工事実施設計4960万円。全額、学校大規模事業債。

◆地方交付税（普通）の追加交付1億1665万3千円。

なお、この補正による歳入超過分514万4千円は、財政調整基金に積み立てて収支の均衡を図る。

主な質疑

質問 小・中学校体育館空調整備事業について詳しく説明を。

答弁 今年11月までに設計業務を終了し、12月議会に工事費の補正計上。来年3月議会に工事契約の議案を提出し、8年度末には完了したい。エアコンの種類については、設計業務の中で選択していきたい。



質問 小・中学校体育館の空調設計委託料、高いという違和感がある。説明を。

答弁 4校あること、エアコンだけでなく、中学校では防水、外壁、内装もあることなどもある。文科省の補助メニューに示された単価で積算して、その数%を設計費として計上している。

質問 町内保育施設への補助金の増額について説明を。

答弁 人事院勧告による人件費の引き上げで職員の賃金が増えることで施設型給付費の公定価格が増になったことによるもの。

令和6年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

補正額は7049万3千円で、補正後の予算現額は23億7540万1千円。

補正の主なものは、
◆人事院勧告に伴う人件費の増額103万1千円。

◆居宅介護サービス給付費の増額3100万円。

◆施設介護サービス給付費の増額3800万円。

◆居宅・施設介護サービス給付費の増額に伴う各種負担金等の増額（国庫1190万円、調整交付金284万2千円、給付費交付金1863万円、県負担金1052万5千円、町繰入金862万5千円）。

なお、この補正による歳入不足1647万8千円は、介護給付費準備基金からの繰り入れで収支の均衡を図る。

主な質疑

質問 給付費が大きく増えている。その要因をどのように分析しているのか。

答弁 全国より高齢化が進み、後期高齢者率が3年度から毎年1%を超える伸びになっている。それに伴い要介護認定率も上昇し続け、介護度も高くなっていることによるものと考えている。

令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

補正額は2400万円で、補正後の予算総額は5億7241万4千円。

特別徴収の保険料収入が増加したことに伴い、後期高齢者医療広域連合への保険料負担金を2400万円増額するもの。

奈良県広域水道企業団設立準備協議会の廃止に関する協議について

県広域水道企業団が昨年11月1日に設立されたことに伴い、県広域水道企業団設立準備協議会を廃止するもの。

奈良県広域水道企業団議会の副議長に就任

令和7年2月20日に開催された県広域水道企業団議会の初議会において、山本隆史議員が初代副議長に当選しました。

議会事務局職員の異動

4月1日付で、下記のとおり人事異動がありました。

奈良県広域水道企業団派遣（総務防災課付）

竹村 恵（前議会事務局兼監査委員事務局主査）

議会事務局主事

川原 千幸（新規採用職員）

下記の二次元コードから、
議会議中継をご覧ください。



3月定例会初日



1月臨時会

予算審査特別委員会報告

一般会計

《歳出全般》

質問 電算システムの費用が高額であることはなぜか。

答弁 将来の人口減少に対応するため、国の標準化法に伴う整備や自治体DXが進められており、将来の職員減少を見据えて行っているため増加している。

《総務費》

質問 防犯カメラ設置補助金の減額の理由と申請時の管理運用基準作成等の自治会へのハードルが高いのではないのか。

答弁 6年度では問い合わせはあるが、補助申請は無く、今後の自治会の動向を考慮して減額にした。また、自治会への採択基準については実情を調査し検討したい。

質問 町のPR動画やSDGsのイベントはどのようなものとなるのか。

答弁 公園や買物施設、飲食店など子育て世代に対して町内の魅力的な場所をTik・TOK動画で配信している。また、SDGsイベントは環境をテーマに実験を含めたパフォーマンスなどを8年1月25日総合文化センターで開催予定。

質問 重点施策にもある勤怠管理システムの導入の目的は何か。

答弁 デジタル社会に対応するため、スマートな行政手続き、事務負担の軽減を目標とし、電子決裁、ペーパーレス化を図るために導入する。

質問 ハザードマップの改訂は行いつのか。

答弁 令和2年3月作成から5年が経過し、土砂災害警戒区域等の見直し、災害時の備えに役立てられるように、7年度では改訂をし、全戸配布を予定している。

質問 自主防災組織との連携で行う防災訓練の予定は。

答弁 自衛隊、警察、消防、

各種団体等と連携し住民参加型での防災訓練と、自主防災会等と町職員が連携し、発災時の迅速な共助が発揮できるように、机上での防災訓練を予定している。

質問 コミュニティバス事業の委託料が増加している要因は。

答弁 交通事業者の人手不足や最低賃金の引上げ等による人件費の高騰と車両の走行距離が40万キロを超えており、修繕が増えているため。



質問 総合賠償保険料が増額されているが、補償の内容に変更有るのか。

答弁 この保険は防災活動等をされている方にも安心して取り組んでいただけるための保険であり、死亡保障を200万円から500万円に引き上げた事と、サイバー攻撃対応の個人情報保護のサイバー保険に加入したことから増加した。

《民生費》

質問 ベビーシッター利用支援事業助成金とはどのようなものか。

答弁 7年度からの新規事業で、対象者は0歳から3歳の誕生日の前日までで、県が認める事業者を利用し、一人1回の利用が5千円を超える場合に3千円の助成を行うもの。対象事業は育児支援、園や習い事への送迎支援、外出支援、家事支援等。

質問 こども誰でも通園制度が8年度から開始されるが、試行も含めて町の取組状況は。

答弁 7年度の試行的事業は見合わせているが、運営方法や空き教室の活用について検討していく。

《衛生費》

質問 带状疱疹予防接種の積算根拠は何か。

答弁 生ワクチン100人、不活化ワクチン150人合計250人で対象者1535人うち16%を見込んだの根拠となる。

質問 不妊不育治療事業に新たに加わった生殖補助医療費助成事業の内容は。

答弁 体外受精や顕微受精の事であり、経済的負担を軽減す

る目的で、妻の年齢が43歳未満で1年度に1回5万円の助成を行う。

質問 アピアランスケア、がん患者支援事業の現状は。

答弁 3月現在18人に助成をし、内容はほとんどがウィッグであり、乳房補正は1人あった。

質問 桜の樹のクビアカツヤカミキリの被害が非常に多いが予算と対策はどのようなものか。

答弁 被害箇所は竜田川沿い、平群北公園、平群中央公園の265本を調査したところ、被害なしが118本、薬液を注入した木が83本、伐採予定が64本となっている。消耗品、事業業務委託料、機械器具購入費で予算計上している。

質問 野菊の里斎場の動物墓地の設置の経緯と予定は。

答弁 町内には千頭以上の飼い犬があり、犬以外にも多くのペットが飼われている。ペットの家族化が進み、ペットを亡くされた悲しみは計り知れないものであり、墓地についての問い合わせがあるため、斎場敷地内に800体分程度の規模で設置する予定。

質問 仮置き焼却灰の処分について予算計上していない理由は。

答弁 清掃センターの老朽化やごみ焼却の他町との連携、今後の利活用等を含めて、あり方を検討している。仮置き焼却灰の処分は清掃センターの総合的な整備の中で行うためである。

質問 キエーロの具体的な普及計画は。

答弁 6年度は広報紙に毎回シリーズ掲載している。4年度からモニターという事で普及していたが、7年1月より見直しをし、実績報告を廃止して配布のみとしており、次のステップとして自治会の班単位などに広く浸透させていく事を検討し鋭意取り組んでいく。

質問 放置された犬の糞などに対してイエローチョーク作戦を行わないのか。

答弁 現在他市町村の事例を参考にし、実施に向けて調整している。

《農林水産業費》

質問 有害鳥獣駆除の被害状況は。

答弁 ハクビシンの住環境被害は把握できておらず、農作物

の被害は数件、捕獲数は1月現在32頭と年々増えてきており、梶原地区に被害が多い状況である。

質問 特産品開発の酒造メーカーの移行の状況は。

答弁 経営移行は順調であり、奈良春日山酒造、近畿大学の協議で新しい酵母やパッケージの工夫を進めている。

質問 農業ビジョン計画の具体的な内容は。

答弁 町の基幹産業の農業において宮農者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加、生産競争の激化など抱えている諸問題の対策や、スマート農業の導入、効率採算性の良い次世代農業の方法の検討等、町の農業の目指すべき姿の中長期的な計画をたてることを目的としている。

《商工費》

質問 関西万博PR活動の内容は。

答弁 万博会場内のデジタルトラベルゾーンに設置されるシアタールームで、前面・左右面・天井面のスクリーンに町の観光スポットが春と秋に4、5日間投影され、町の魅力をPRする。

《土木費》

質問 国道沿いの大型店舗出店に伴う渋滞解消のための交通量調査は行つのか。

答弁 国道は県が定期的に調査をしており、大井手路線はオープン前後に調査をし、大井手路線への迂回状況を確認、対策の検討を行いたい。

質問 平群駅周辺整備事業の公園の整備状況は。

答弁 総合文化センター北側の1号公園は6年度に滑り台やベンチ、幼児用スイング遊具を設置予定、また役場南側の2号公園には7年度に東屋のような休憩施設を設置予定。

《消防費》

質問 消防弱点地域の解消の進捗状況は。

答弁 計画通りには進んでいない状況で、9区域が未整備となっている。

《教育費》

質問 町立図書館の資料予算が他町と比べても低い状況であり、図書充足率も達していない状況のなか今後の図書館の活用はどのようにするのか。

答弁 徐々に蔵書は増えてき

ており、金額は昨年と同額であるが、図書館機能が充実するような行事等も行っていきたい。

質問 学校給食費会計繰出金は食材の高騰による補填であるが、さらに足りない場合は補正するのか。

答弁 予算の範囲内で運営努力するが、さらに不足した場合保護者負担を増やさないよう、補正予算も検討したい。

質問 子どもたちの健康面や子育て支援からウォーターパークの再開をしないのか。

答弁 ウォーターパークの廃止については専門家を通じて精査をし、令和6年1月の町政報告会の資料でも説明しており、廃止の結論となっている。

《歳入》

質問 個人住民税が増加の見込みであるがその要因は。

答弁 6年度は定額減税により一時的に減収していたが、7年度は例年の水準の見込みとして算定しているため。

質問 固定資産税の超過税率が18年経過し、恒久的になっており、今後も財政出動はあるものの、毎年0.01%約500

万円を引き下げていけば財政影響は少なく、住民負担も減るが、変更しないのか。

答弁 住民に超過税率を協力いただいていることを重々認識しながら予算執行に努めており、緊急財政健全化計画の期間中で、奈良県の重症警報を受け奈良県と協定書を交わし支援を受けて実行中であるため、変更は難しい。

質問 どんぐり広場では収益事業をされているので、どんぐり広場の使用料を無料から有料に見直さないのか。

答弁 そのことは以前から聞いているが、内部で議論を行っている。

次ページへ続く

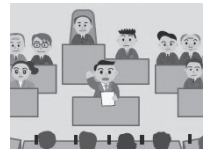


反対討論

喫緊の課題である現役世代の定住促進として定住促進交付金、移住支援交付金の継続、民間ごとも園の開園により待機児童ゼロが安定的に実現し、来年度の予算ではベビーシッターの利用料に対する支援や、動物墓地の整備などの新規事業についても、一定評価をするが、固定資産税の超過税率や家庭ごみの有料化の住民負担増は継続し、現役世代の定住促進に役立つウォーターパークの再開はせず、櫛原山林のメガソーラーの開発では、下流河川水路の安全確保にも消極的で、住民の願いに逆行した予算編成である。

能登半島地震の復興の足を引っ張る関西大阪万博のPR活動への予算計上されており、皆さんとともに輝く「へべり」の未来を創る、あるいは「誰もが安心して暮らせるへべりのまちに」のスローガンとは裏腹に、住民負担を段階的にでも解消しようとする姿勢が見られない予算には反対をする。

賛成討論



厳しい財政状況の中でも、新規職員の採用、新庁舎建設に向けた取組、ハザードマップの改定や防災訓練の実施、小・中学校体育館の空調設備設置に向けた設計業務、新たなベビーシッター支援事業や不妊不育に係る費用の助成、移住や結婚新生活の支援交付金やT・i・k・T・o・kなどを生かしたシテイ・プロモーションの実施、带状疱疹に係る予防接種費用の一部負担、また、勤怠管理システムの導入などに取り組むなど、町長公約の六つの指標に基づき、町政の発展を目指した事業内容となっている。

令和2年11月に県より重症警報が発令され、5度目の予算提案になるが、町の将来を見据え、財政の健全を確保しつつ、適切な執行を目指した予算が計上されていることから賛成する。

採決の結果、賛成多数により原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

令和7年度一般会計・特別会計・企業会計予算総括

(単位：千円、%)

区 分		令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	比 較	
				増減額	増減率 (%)
一 般 会 計		8,210,000	7,530,000	680,000	9.0
特 別 会 計					
住宅新築資金等貸付事業特別会計		6,294	6,294	0	0.0
国民健康保険特別会計		2,255,000	2,371,000	△116,000	△4.9
農業集落排水事業特別会計		35,149	34,366	783	2.3
学校給食費特別会計		67,680	62,453	5,227	8.4
介護保険特別会計 保険事業勘定		2,348,058	2,267,912	80,146	3.5
奨学資金貸付事業特別会計		456	474	△18	△3.8
後期高齢者医療特別会計		627,344	548,414	78,930	14.4
用地先行取得事業特別会計		13,344	13,374	△30	△0.2
特 別 会 計 合 計		5,353,325	5,304,287	49,038	0.9
企 業 会 計					
下水道事業会計	下水道事業収益	431,853	440,069	△8,216	△1.9
	下水道事業費用	376,010	381,867	△5,857	△1.5
	資本的収入	125,727	123,083	2,644	2.2
	資本的支出	240,245	253,266	△13,021	△5.1

住宅新築資金等 貸付事業特別会計

質問 6年度の過年度収入と滞納繰越額のそれぞれの見込みと、訴訟事案の経過はどのようになっているか。

答弁 過年度収入見込み約510万円、滞納繰越見込は約6140万円であり、競売については売却することができたが、公売は売却に至らなかった。

国民健康保険 特別会計

質問 国保税が奈良県統一料率になって初年度であり、実質単年度収支が赤字の見込みであるが、赤字の内容とその赤字は県交付金では賄えないのか。

答弁 平群町独自事業の人間ドックやがん検診分と、特定健診の交付金では賄えないものが、赤字見込みである。

質問 国保税滞納者の保険証の交付は、病気の重篤化など問題が起きないように交付しているのか。

答弁 滞納者より連絡があり交付する際には、保険税の納付が必要であることを説明し、資

格確認書の交付を行っており、問題なく交付している。

下水道事業会計

質問 6年度の新規加入の状況は。

答弁 緑ヶ丘D地区の接続で170件と個別接続約30件である。7年度から接続件数に数値目標を定めて赤字解消に取組むべきだとの意見があった。

農業集落排水 事業特別会計

質問 6年度の接続件数と接続率、7年度の接続見込みは。

答弁 対象件数90件のうち、6年度の接続は1件で接続率は67・8%となり、7年度の接続は1件と見込んでいる。

学校給食費特別会計

質問 成長期にある児童・生徒には、学校給食は文科省の基準力ロリーはとれるようにする必要があるが、いつごろから下回っている状況であるのか。

答弁 小学校では4年度から少しずつ下がり、中学校では2

年度から少し下がっている状況であり、今後は子ども達に必要な力ロリーと栄養価については、管理栄養士と調整して、提供していきたい。

介護保険特別会計

質問 認知症サポーターの人数は2105人、キッズサポーターが548人とあるが、今後の認知症サポーター養成講座をどのようにしていくのか。

答弁 6年度は年間6回の講座を開き、105人の受講者があった状況で、7年度も6回の開催を予定している。

質問 団塊の世代が後期高齢者の3分の2を占める超高齢化社会になっていることが認定者の増加と介護度の押し上げになり、介護給付費の増加につながっていると考えるが、その対策は。

答弁 地域包括支援センターの取組や、住民の介護予防への参加により、住み慣れた土地で安心して暮らせるように引き続き介護予防に取組み、介護講座等の情報発信を行っていく。

奨学資金貸付 事業特別会計

質問 平成14年度から奨学資金貸付制度があるが、昨今の物価上昇等の情勢に対応するように見直しが必要ではないか。

答弁 奈良県にも同様の制度があるのでその兼ね合いも含めて検討する。

以上、7件の会計予算については、採決の結果、全員異議なく原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

後期高齢者 医療特別会計

用地先行取得 事業特別会計

以上、2件の会計予算については、質疑、討論はなく、採決の結果、全員異議なく原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

予算審査特別委員会

委員長 山田仁樹

平群町議会の個人情報の保護に関する 条例の施行状況の公表について

【趣旨】 平群町議会では、議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めるとともに、議会が保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める個人の権利を明らかにすることにより、議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護することを目的として、「平群町議会の個人情報の保護に関する条例」を定めています。

【令和6年度の施行状況】

開示請求・訂正請求・利用停止請求 0件
審査請求 0件



町政を問う! 一般質問一覧

山田議員	1. 平群町斎場設置及び管理に関する条例について 2. 県道椿井王寺線及び国道168号バイパスの整備状況並びに渋滞緩和対策について 3. 国道168号沿いの大型店舗の営業開始後の通学路の安全対策と保護者への周知状況について	植田議員	1. GIGAスクール端末にSNS相談アプリを 2. 町立こども園でも手ぶら登園の準備を
		稲月議員	1. 自治会集会所等へのAED設置普及について 2. 大型車輛の通行増に伴う問題について 3. 168沿道大型商業施設急増による町への影響について
長良議員	1. 部活動改革について 2. 教育環境の向上と老朽化対策の一体整備について 3. 地域公共交通を考える 4. ごみ減量化とごみ処理について 5. 公共下水道について 6. これからのまちづくりについて	森田議員	1. 防災・減災対策と復旧・復興について 2. 自治会々員減少について 3. 選挙公費負担について 4. 名誉町民制度の創設について
		岩崎議員	1. 上下水道老朽化対策について 2. 避難所でのマイナンバーカード活用について 3. 健康経営推進について
井戸議員	1. 小中学校、大阪万博の無料招待に応じよう	馬本議員	1. 新庁舎建設計画について 2. 各学校体育館の空調整備等について 3. 町道西山麓線（旧・西和広域農道）の先線計画を 4. 住民が求めるコミバス運行を
山本議員	1. 非常用発電設備の整備について 2. 平群町町有バス使用規定について		
関 議員	1. 終活支援の相談窓口の設置について 2. 平等寺交差点の渋滞緩和について	須藤議員	1. メガソーラー工事について 2. 有効な濁水対策について

※質問の内容は、議員の自己責任で掲載しています

斎場設置及び管理に関する条例について



山田 仁樹



質問

平群町野菊の里斎場は平成17年4月供用開始以後住民にとって家族・親族を安らかに安心して送る事が出来る大変重要な施設となっています。

竣工当初は喪主が平群町民であれば、町内料金で利用できましたが、喪主のなりすまし等、不正行為の疑いがあつた事例もあり、死亡者本人が平群町に住民票を有している事と平成29年12月に改められました。

そんな中最近、住民の

答弁

故人が長年生活され、慣れ親しんだ地で皆と最後のお別れを望まれる親族の心情などを考えますと、救済方法について検討が必要との認識のもと、今後の対応について、他の自治体の事例等を調査し、本町の規定の変更等、検討したい。

方より御指摘頂いたことですが、平群町で生まれ育ち平群町で結婚、出産、子育てを行い家族と共に平群町で生活してこられた方が他の自治体にある介護施設等に入所され、それぞれのご家族の事情により、住民票を移された状況の中、お亡くなりになった場合、町外住民としての対応になったこの事です。

救済方法を考えるべきだと思つがいかがか？



公共下水道について



長良 俊一



質問

今年度も「ふるさと平群クリーンアップ作戦」に参加させていただきました。川を少しでもきれいにするための試みです。

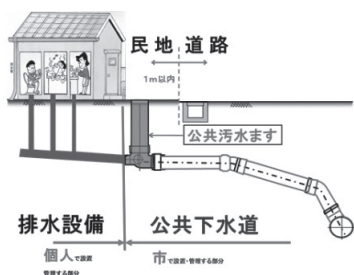
下水道事業は、道路など誰でも利用できる施設とは異なり、整備された地域の方だけが利用できる施設であり、一部の方のみに受益が生じます。このことから整備・維持管理のご負担を願っているものと考えます。

今後の人口減少・少子高齢化などを考慮し、各地域の都市基盤の整備や公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全が求められています。お考えをお聞かせください。

答弁

公共下水道事業は、平成18年度に供用開始し、令和5年度末の認可区域内整備率は、43・5%となっています。

整備済み区域の現状は、老朽化が進行し、更新が必要な施設が増加しています。事故の防止や公衆衛生の確保の観点から、まずは、既存施設の更新を優先的に進めていきたいと考えていることから、新規の管路整備については、財政的にも難しいと考えております。今後の下水道事業をどのように進めていくかについては、慎重に検討して参りたい。



小中学校、大阪万博の無料招待に応じよう



井戸 太郎



質問

今年4月から大阪万博が開催される。大阪府を含む近隣の小中学校へ無料招待を行なっている。しかしながら、安全面にての不安、暑さ対策への不満から、招待を断る小中学校が増加している。

学校としての立場からは、理解できるが、児童生徒が得るものも大きいと考える。

平群町の子供達を大阪万博に参加させてほしい。

答弁

参加については、学校行事とし、各校長が判断する事になっている。

現在の意向調査では、平群小学校不参加、北小学校未定、南小学校不参加、平群中学校2年生のみ参加とのこと。



平群町町有バス 使用規定について



山本 隆史

質問



町有バスは行政事務を遂行するために運行するほか、町民の各団体が見識の高揚を図る目的で視察研修、または交流を実施する際の利便を図るとともに、スポーツ、文化の振興を図り、活力のあるまちづくりを推進する目的で運行される重要なアイテムです。

町民の皆さまの税金で運行されている町有バス



答弁

ですが、申し込めば誰でも利用できるというものではありません。

使用規定では、利用できる公共的団体が定められていて、自主防災組織連絡協議会の使用は許可されていますが、各自治会の防災組織（防災会）が単独で利用することは出来ませんので、規定の緩和を求めます。

令和5年度の利用団体は、学校やこども園の教育委員会関係、社会福祉協議会の各種団体、長寿会その他、町担当課での自治連合会や自主防災組織連絡協議会、食生活改善推進員協議会等の利用となっています。

町有バスは事業者に運行を委託していますが、運転手不足や運行経費等の増加により、通常の運行も厳しい状況ですので、規定の緩和は難しいと考えています。

平等寺交差点の 渋滞緩和について



関 順子

質問



国道沿いの椿井に今年、大型店舗が出店すると言う事で、今現在工事現場への関係車両の進入が頻繁で平等寺交差点や協和橋東詰め交差点付近は大変渋滞が続いている状況です。

特に平等寺交差点付近は信号が青に変わっても交差点内に国道の車が進まず、配送業者や福祉施設のドライバーの皆様は大変困るとの相談が多く、今後渋滞が予想されます。奈良県警と郡山

土木とも密に連携を取って早急に手立てを取って頂きたい。

本町としてのお考えは。

答弁

現在、平等寺交差点は、新規の大型店舗建設工事の影響もあり、大変混雑している状況であることは認識しています。対策のひとつとして信号機の秒数を変更する事についても西和警察に確認した所今後、協和橋までの信号の形態が変更される事から店舗開店後、一定期間交通の流れを見て検討する必要があるとの回答でした。他にもドライバーへの注意喚起に道路敷きに標識を設置する事も考えられるので道路管理をする郡山土木との協議を予定しています。西和警察、郡山土木と連携し渋滞緩和対策を検討します。



町立こども園でも 手ぶら登園の準備を



植田 いずみ



質問
オムツの定額サービス（サブスク）と、お昼寝布団をコットベット導入で大幅に荷物を減らし、保護者や保育教諭の負担軽減が出来ます。オムツのサブスクは、奈良市、三宅町、天理市で導入。コットベットは奈良市、生駒市が導入。斑鳩町も令和8年度からオムツのサブスクとコットベットを導入します。



荷物が減って負担が減った。オムツの名前書きが無くなり子どもと向き合う時間が出来たなど。保育教諭からもオムツ等が、使い放題で負担軽減に。働きやすい職場は保育教諭の確保につながる。

時代のニーズに合わせて手ぶら登園への準備を。

答弁

一部自治体や私立保育園で保護者の負担軽減を目的に、「紙おむつ」などのサブスクを導入していることは承知している。保護者の登園準備にかかる時間短縮や、荷物の負担軽減等が図れるなどのメリットがある一方、デメリットもある。コットベットも導入費用が必要で、保護者や保育教諭等ニーズの把握をし、必要に応じ試験的に導入するなど段階を踏んでいく必要がある。導入までにしっかりと調査し実施に向け取組んで行きたい。

大型車輛の通行増に伴う問題について



稲月 敏子

質問

フラワーロード沿い、東斜面の残土処理場に大型ダンプが県道信貴山線経由、三郷経由で朝から夕方遅くまで頻繁に通行。本道は西山間地の宮農推進目的に造成された道路、且つ生活道路。大型車の往来増加、R168混雑回避車輦、メガソーラー工事に伴う車輦や通行止め（爆破物使用による）等で、安全な通行が妨げられている。大型ダンプ増加による舗装の傷みや舗装材破片飛散によ



答弁

る車の損傷が著しい。これら現状改善を求める。
①1日の通行台数、特に土砂積載車の台数。南北双方から来る台数は？
②道路の傷み状況は？
③通行台数制限は？事業者による道路修理要請は？
④道路の傷みや危険を行政が早く掌握できる通報制度の実施を。国交省は日本全国道路異常の通報LINEアプリを開始している。平群町での実施を求める。

①1日20台程度
②傷みが多い
③制限する法的根拠がない。道路の損傷・汚れ等原因者が特定できれば修復を求めることが可能だが、本件は困難。
④通報アプリは利用できるようにしたい。広報・町HPなどで周知する。





森田 勝



防災・減災対策と 復旧・復興について

質問

最近、日向灘周辺で地震活動が活発化していることから、政府は南海トラフで今後30年以内、地震の発生確率を80%程度に引き上げ、大型地震が何時何処で発生するかわからない状況になっている。一方、県の地震被害想定調査報告書によると、南海地震等の海溝型地震が発生した場合、県内の人的・物的被害は少ないものの、内陸型地震が発生すると、人的・物的被害が出るとなっている。平群町の場合、生駒断層帯で地震が発生すると死傷者438人、避難者6318人、住宅の全半壊2406棟と被害が



答弁

(1)耐震化する事であり、町内の耐震化率は約78%(2)①生活環境に支障が出ない様に、暫定的な仮置き場を決める②学校の運動場や公園に約522棟可能③平群土木協同組合と災害時等の防災協定を締結しており、町内業者との連携に努める。

甚大で、町内全域でライフラインの供給障害がおり住民生活に大きな影響を与えるとのことから(1)住宅の全壊・半壊対策は(2)復旧・復興について①震災廃棄物集積場②仮設住宅建設③地元建設業者の減少、について質問する。

避難所でのマイナンバーカード 活用について



岩崎 真滋



質問

NHKの報道で、石川県やデジタル庁が協力して大規模災害が発生した際に、避難所の運営にマイナンバーカードを活用する実証実験が、金沢市で行われたことが紹介されていました。被災者のマイナンバーカードから名前や住所を読み取り、避難所への入所記録を作成する手順の確認や、専用のアプリの機能を活用し物資の受け取り状況の把握など。また、能登半島地震の際はマイナン

バーカードを持たない避難者が多かったことを踏まえ、予備のICカードを配布する手順も確認されたとのことです。デジタル庁によりますと今回の実証実験ではデジタル技術を活用した場合、従来の方法と比べて避難所への入所者の把握にかかる時間がおよそ10分の1に短縮できたとのこと。避難所運営におけるマイナンバーカードの活用について町行政のお考えをお聞かせください。



答弁

マイナンバーカードを利用した避難所への活用については、国において、実証実験を行っている状況でありますので、今後の状況に注視していきたいと考えております。

町道西山麓線の先線計画を



馬本 隆夫



質問

町道西山麓線（旧・西和広域農道）は、南は三郷町の県道信貴山線に接続、北は町道鳴川路線で行き止まり、生駒市への先線計画は平群町の街づくりとして重要と提案、平群町にとって大きなメリットになる。

その後、進捗状況並びに今後の取り組みを質問、町は事務者レベルで生駒市、三郷町との協議を深め、又郡山土木協議会などを活用し、本町の第5次総合計画に位置付ける。
①事務者レベルと土木協議会等の進捗状況は。
②第6次総合計画にも位置付けがないのは何故。

答弁

③国道の渋滞が慢性化、日常生活に支障が出ており、県の渋滞緩和施策は。

①生駒市・三郷町と協議を行った経緯があるが、具体的な協議は行っていない。改めて協議の場を持つて参りたい。

②位置付けまでには至っておりません。

③県は、「一定規模以上の店舗等の開発に際しては、沿道店舗の出入口の集約化や進入レーンの調整等開発事業者へ指導も行っている」と回答。又、町は、スギ薬局前の三里南交差点を改良し、右折レーンの設置要望をしています。



メガソーラー工事について



須藤 啓二



質問

榎原メガソーラーの洪水調整池が十分な機能を発揮しないと洪水が発生する。2号調整池（榎原トンネル西側）の下流の榎原川の流下能力が非常に小さく、放流口はわずか6cm角しかない。土砂や枝葉等によって閉塞する危険性が強いこと、薄いブリキ板のようなものに6cmの穴があけられたものが小さなねじ6本で取り付けられている。

①調整池について、現地の調査を行い、危険性

の確認を町として行うこと。薄い鉄板では全く強度が期待できない。

②放流口の閉塞のおそれ強い。閉塞時の対策として調整池の水位が異常に上昇した場合、水位計を取り付け、警報発信



できる設備を設けること。さらに閉塞対策として非常用ポンプ設備を設置する等の対策が必要と考えるがいかがか。

③50年確率では3400m不足する。これでは災害対策にならない。太陽光パネルの設置面積を減らす等の対策が必要ではないか？

答弁

①調整池は県が完了検査をおこなう。現在の鉄板は仮設でやり替えると言っている。

②対策は県、事業者と協議する。ポンプは不要である。

③町としてはお答えできない。

昭和44年9月創刊 議会だより第1号はこのように誕生しました



昭和44年4月に議会事務局が総務課から独立したことを契機に、議会専門の広報紙「議会だより」を発行して、村民の皆さんに議会の審議内容をお知らせしようとするもので、年3、4回、定例村議会を主にしたものを発行することになりました。

日本や世界のことは新聞、テレビ等が報道しますが、私達の村の様子、議会で何をどのように討議し、決定しているか、またはどういう方向をめざしているかはほとんど知られていません。村当局から発行している「へぐり広報」はお知らせ的なもので問題の内容まで詳細に述べていない点をこの「議会だより」で述べていきたいと考えています。

(「議会だより」第1号より抜粋)

議会だより創刊 昭和44年(1969年)の平群村での出来事 (「広報へぐり」より)



「広報へぐり」創刊100号

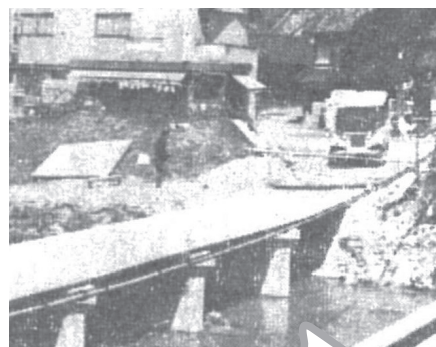
広報へぐりの創刊号の発行は、終戦後の混乱がまだ続く、昭和26年7月1日。

広報の発行は、当時の町村としてはあまり例のない進んだ仕事でした。

消防ポンプ自動車を購入

着々進む住宅開発、多発する森林火災に備えて、消防力を強化するため森田式消防ポンプ自動車を購入。

村有消防力は、消防ポンプ自動車3台、可搬式ポンプ8台となり、火の守りに万全を期することになりました。



下垣内橋が復旧

昭和43年7月の集中豪雨により下垣内潜水橋が流出。

災害復旧工事として総工費118万円を投じて着工、昭和44年2月に完成しました。



開発が進む平群村(櫛原地区)

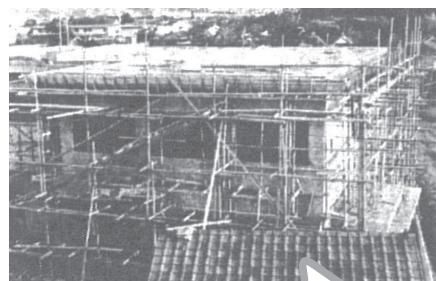
昭和44年・令和7年1月比較

	昭和44年	令和7年
世帯数	1,697	8,231
人口	7,316	18,142
男	3,558	8,538
女	3,758	9,604

平群健民運動場が完成

山を削って谷間の田を埋めてグラウンドを造りました。

総工事費は約2125万円。相当の難工事でしたが、山の中の美しいグラウンドになりました。



役場庁舎増築工事が始まる

庁舎を増築して住民サービスに万全を期するため、昭和44年8月に工事に入りました。

昭和45年
2月末日完成



村民待望の町政施行は、昭和46年2月1日の出来事でした。

議員提出議案

平群町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について（原案可決）

提出者 山田仁樹
賛成者 山本隆史

平群町議会委員会条例の一部を改正する条例について（原案可決）

提出者 山田仁樹
賛成者 山本隆史

平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について（否決）

提出者 長良俊一
賛成者 関 順子
岩崎真滋
森田 勝
馬本隆夫

「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書（案）（原案可決）

提出者 植田いずみ
賛成者 須藤 啓二
稲月 敏子

高額療養費制度の負担上限額引上げに反対する意見書（案）（原案可決）

提出者 稲月 敏子
賛成者 須藤 啓二
植田いずみ



☆詳しくは、左の
二次元コードか
ら、議会中継を
ご覧ください。



議会の動き

議会運営委員会

※令和7年平群町議会第2回定例会の議
会運営について

2月19日

※議会運営について

1月30日、3月10日

新庁舎建設特別委員会

※今後議論する項目と進め方について

2月26日

※新庁舎の議場について

3月14日

※新庁舎の委員会室について

3月24日

公共交通対策特別委員会

※平群町椿井地区大型商業施設開業に伴
うコミュニティバス停留所設置（案）に
ついて

※令和7年度事業計画（案）について

※令和7年度予算（案）について

3月18日

下水道事業特別委員会

※平群町公共下水道管の更新について

3月24日

全員協議会

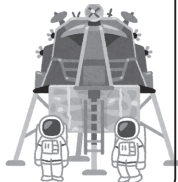
※緊急財政健全化計画について

2月18日

昭和44年（1969年）の出来事

世界

- アポロ11号が人類初の
有人月面着陸成功
- 「セサミストリート」
放送開始



日本

- 「水戸黄門」「8時だヨ！全員集合」
「サザエさん」テレビ放送開始
- 映画「男はつらいよ」1作目公開
- 新東京国際空港（成田国際空港）建設開始
- 東名高速道路が全区間開通
- 全国高等学校野球選手権大会決勝で
三沢高校と松山商が延長18回
引き分け再試合

奈良県

- 近鉄奈良線の大和西大寺駅～
近鉄奈良駅のルート変更。
近鉄奈良駅を地下化。
新大宮駅を開業。



第300号記念特集

議員12人に聞きました

平群町議会だよりは、昭和44年9月に創刊し、おかげさまで第300号を迎えました。これからも住民の皆様に開かれた議会を目指し、見やすい紙面づくりに励んでまいりたいと考えています。

第300号記念特集として、平群町の風景の中で、それぞれの議員のお気に入りの写真1枚を掲載します。

議席番号
議員名

とっておきの
私の1枚!



議員が撮影した
お気に入りの写真です!



発行の1969年は、アポロ11号が有人月面着陸に初めて成功した年。本町では大阪のベッドタウンとして住宅開発が進んでいた時期で、当時の人口は7316人でした。あれから56年、近隣議会では例を見ない300号に到達しました。「議会だより」がいつそ住民のみなさんと議会を結ぶ紐帯(ちゆうたい)として役立つよう、さらなる努力をしていく決意です。

本町の「議会だより」第1号は1969年9月。当時は平群村で、議会事務局が総務課から独立したのを契機に、村民のみなさんに議会の審議内容を知らせようとのことからでした。当時の西川仁郎議長は、「地方自治を住民の手にとりかえし、住民の願いに応える住みよい平群村建設に役立てたい」と述べています。

議長 山口昌亮

議会だより
300号
発行にあたって